

2011年3月期 連結業績概要
2012年3月期 連結業績見通しについて

TDK株式会社
代表取締役社長
上釜 健宏

この資料には、当社または当社グループ（以下、TDKグループといたします。）に関する業績見直し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価等といった、将来に関する記述があります。これらの将来に関する記述は、TDKグループが、現在入手している情報に基づく予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として作成しているものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいるものです。従って、これらのリスク、不確実性、その他の要因による影響を受けることがあるため、TDKグループの将来の実績、経営成績、財務状態が、将来に関する記述に明示的または黙示的に示された内容と大幅に異なったものとなる恐れもあります。また、TDKグループはこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

TDKグループの主たる事業活動領域であるエレクトロニクス市場は常に急激な変化に晒されています。TDKグループに重大な影響を与え得る上記のリスク、不確実性、その他の要因の例として、技術の進化、需要、価格、金利、為替の変動、経済環境、競合条件の変化、法令の変更等があります。なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。

又、本資料では、業績の概略を把握していただく目的で、多くの数値は億円単位にて表示しております。百万円単位にて管理している原数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが1億円の桁において、不正確と見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信及び補足資料を参照していただきますようお願いいたします。

2011年3月期 連結業績概要



(億円)	2010年3月期 通期実績	2011年3月期 通期実績	対前年同期比	
			増減	増減率(%)
売上高	8,089	8,757	669	8.3
営業利益	258	638	380	147.7
営業利益率	3.2%	7.3%	+4.1pt	-
税引前利益	219	601	382	174.2
当期純利益	135	453	317	234.8
1株当たり利益(円)	104.82	350.90	246.08	-

為替	対ドルレート	92円89銭	85円73銭	7.7%の円高 13.8%の円高
	対ユーロレート	131円18銭	113円12銭	

為替変動による 影響金額	売上高：約574億円の減収 営業利益：約180億円の減益
-----------------	---------------------------------

震災による 影響金額	売上高：約11億円の減収 営業利益：約18億円の減益
---------------	-------------------------------

◆東日本大震災の影響

- ・ 約11億円の売上減少/約18億円の営業利益減少
- ・ 震災直後から自動車市場での生産調整が顕在化
- ・ その他セット製品市場の動向を注視
- ・ 現在の状況及び今後の対応等（10ページをご参照下さい）

◆エレクトロニクス製品市場はセット製品により異なる

- ・ スマートフォン、タブレット端末の生産が大幅に増加
- ・ 自動車、産業機器市場は安定的に推移
- ・ フラットTV、ノートPC、HDDの生産調整が継続

◆受動部品の売上高は前期比18.2%増

- ・インダクティブデバイスが幅広いセット製品向けに増加
- ・高周波部品がスマートフォン向けに大幅増加
- ・アルミ・フィルムコンデンサーが再生可能エネルギー・産業機器向けを中心に増加
- ・セラミックコンデンサーが自動車向けを中心に増加

◆磁気応用製品の売上高は前期比4.0%減

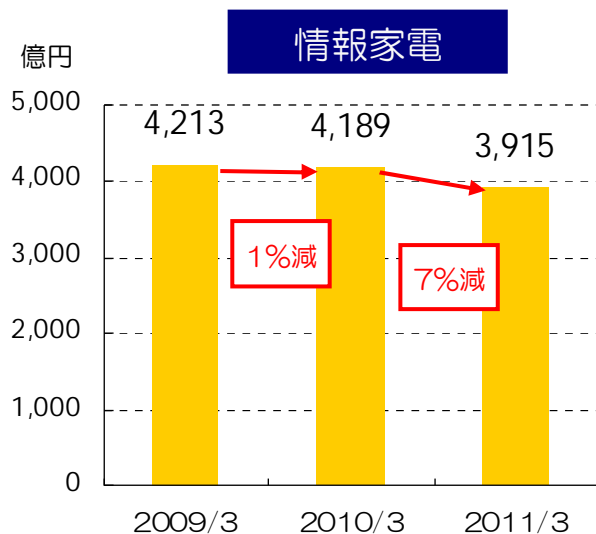
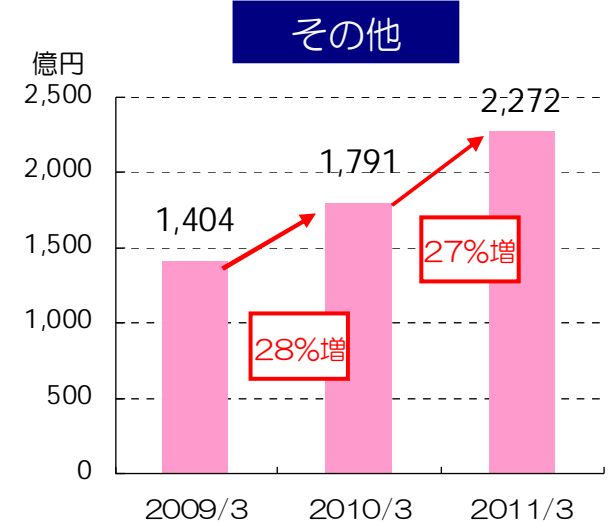
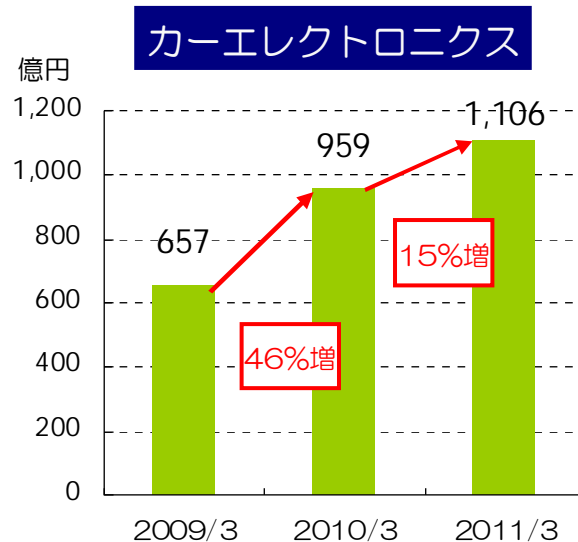
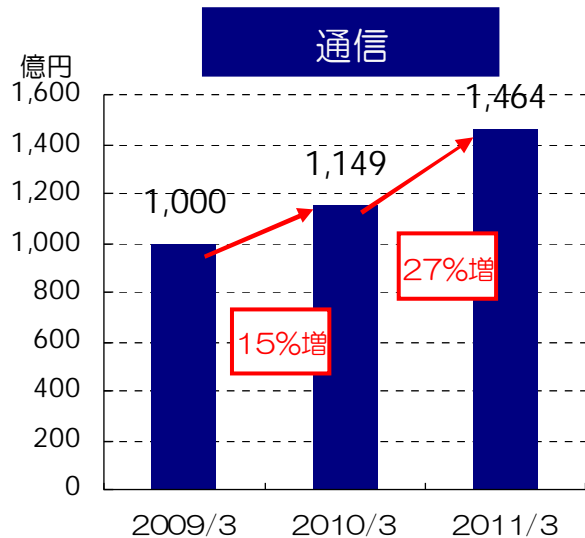
- ・記録デバイスの販売がHDD市場の生産調整及び円高の影響を受け販売が減少(前期比8.0%減)
- ・電源製品の販売が産業機器向けを中心に増加

◆その他の売上高は前期比26.2%

- ・二次電池の販売がタブレット端末向けを中心に増加

2011年3月期通期決算の特徴

TDKグループ/分野別売上高の推移

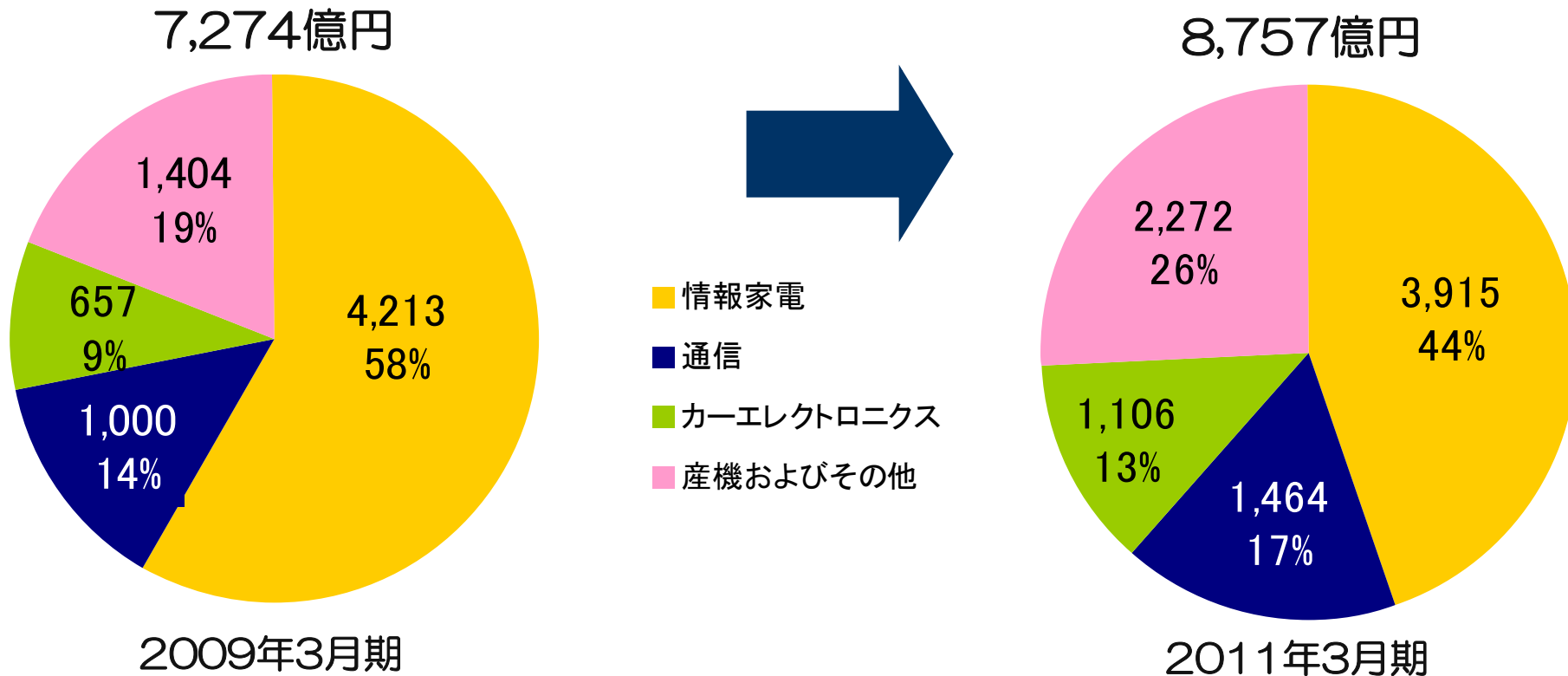


重点3分野の売上が大幅に増加

1. 通信
2. カーエレクトロニクス
3. その他 (再生可能エネルギー、産業機器などを含む)

※2009年3月期の下期よりエプコス連結

分野別売上構成の変化



- ・ 売上の増加に伴い分野別構成比が変化
- ・ 情報家電分野以外の3分野の構成比が2009年3月期の42%から2011年3月期には56%まで拡大

※2009年3月期の下期よりエプコス連結

- ◆ 東日本大震災により、当社の連結業績に影響を与えるセット製品の生産水準を見通せないため、2012年3月期の連結業績及び配当金見通しは未定としております。
- ◆ 業績の開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

(円)	2010年3月期 通期実績	2011年3月期 通期実績
中間配当	30	40
期末配当	30	40 (予定)
年間配当	60	80 (予定)

【現在の状況】

- 対象25事業所は全て生産及び業務再開済み
- サプライチェーン上の懸念は一部の部材を除き解消見込み

【震災後に行っている施策】

- 安定生産体制確保
 - 設備破損予防及び早期復旧体制の強化
 - 予想される夏季電力不足に対する対応
 - ✓ 生産体制の変更などによる節電対策の実施
 - ✓ 自家発電設備導入によるバックアップ体制の確立
- 調達戦略の再検討
- リスク管理体制の再構築

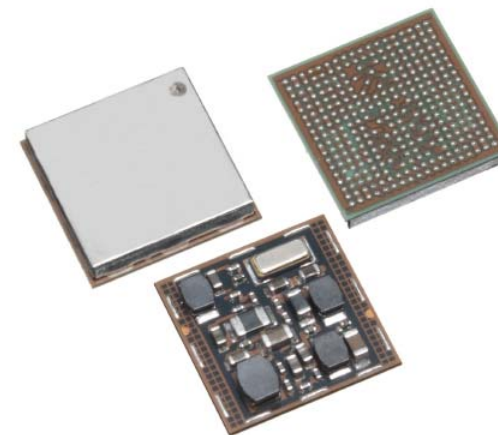
部品メーカーとしての供給責任を果たす

◆ 通信分野

- ▶ 薄膜デバイス
- ▶ 高周波インダクター
- ▶ IC内蔵基板を使ったモジュール製品

◆ カーエレクトロニクス分野

- ▶ DC-DCコンバーター
- ▶ パワーコンデンサー（フィルムコンデンサー）
- ▶ センサー



IC内蔵基板を使ったモジュール

◆ 情報家電分野

- ▶ HDDヘッド
 - ✓ 2.5” 500GB/P及び 3.5” 1 TB/P
- ▶ 2次電池
- ▶ 光学応用部品
 - ✓ PC向け光送受信モジュール（Light Peak）など

◆ 再生可能エネルギー・環境分野

- ▶ 日系顧客への拡販活動強化（金属磁石・各種コンデンサー・トランスなど）
- ▶ LED照明むけESD対策部品

